高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 農業 科目 農業と環境

教 科: 農業 料 目: 農業と環境 単位数: 3 単位

対象学年組:第 1 学年 A 組~

使用教科書: (実教出版「農業と環境 新訂版」

教科 農業 の目標:

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

)

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や 社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 農業と環境

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業と環境の各分野について体系的・系統的に 理解するともに、関連する技術を身に付けるよ うにする。	められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解 決する力を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	①農業と環境を学ぶ 【知】農業と環境の学び方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けられるようにする。 【態】農業と環境の学び方について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組ませる。	・農業やと環境は人間生活の影響を受け、相互に影響しあう関係にある事を理解させる。 ・農業の学び方に興味関心を持ち、実践する意欲と態度を身に付けさせる。 ・学校農業クラブ活動の目標や組織、活動内容を理解させ、なり組む意欲と態度を身に付けさせる。	【知】農業と環境の学び方、および学校農業 クラブについて理解しているとともに、関連 する技術を身につけているか。 【態】農業と環境の学び方、および学校農業 クラブ活動について、主体的、協働的に取り 組んでいるか。	0		0	5
学	②栽培と飼育の基礎 【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けられるようにする。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決させる。 【態】作物や家畜管理上場よび生る。 【態】作物や家畜管理以よび生気に影響を及ぼす環境要因に動いて生でに影響を及ぼす環境要因に働いていいの場所に取り組ませる。	・作物や家畜にの特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について科学的にとらえ、主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けさせる。 ・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、課題を整理し解決にしば一ト等で表現できるようにする。 ・作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する基礎的な知識を均は、技術の仕組みを理解させる。	【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けているか。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決できるか。 【態】作物や家畜に興味関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的、かつ協働的に取り組んでいるか。	0	0	0	8
	定期考査			0	0		1
2学期		・人間と他の生物と環保、し関係、し関係、し関係、し関係、し解で、関係、し解で、関係の関係が、関係のした。 と、	【知】私たちの暮らしと農業、農村について理解するとともに関連する知識技術を身に付ているか。 【思】私たちの暮らしと農業、農村に関する課題を発見し、科学瀧な根拠に基づいて創造的に解決できるか。 【態】私たちの暮らしと農業、農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいるか。	0	0	0	

	②栽培と飼育の基礎 【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けられるようにする。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に	・プロジェクト実施の意義、方法について理解させ、実施に対する 興味関心と意欲を持たせる。 ・プロジェクト実施にあたって、 計画の立て方、農業生産工程管 理、栽培飼育環境の管理と評価に ついて理解させる。	【知】作物や家畜の特性や生育環境、管理に関する技術を身に付けているか。 【思】作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的、科学的に考察し、想定される管理上の課題を整理し創造的に解決できるか。 【態】作物や家畜に興味関心を示し、その特	0	0	0	
	定期考査			0	0		
	①私たちの暮らしと農業、農村 【知識及び技術】私たちの暮らし と農業、農村について理解すると とともに関連する知識技術を身に付 られるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】私 たちの暮らしと農業、農村に拠に 基づいて創造的に解決させる。 【学びに向かう力、人間性等】私 たちの暮らしと農業、農村に知い で向からから力、人間性等】私 たちの暮らしと農業、農村につい である。	・食と農業、環境と農業、生活に関する基礎的な知識を身に付けさせ、農業の社会的な役割と環境、暮らしとの関係について理解させる。 ・食と農業の動向と課題に関する基礎的な知識を身に付けさせ、農業の社会的な役割、環境、暮らしとの関係を理解させる。	【知】私たちの暮らしと農業、農村について理解するとともに関連する知識技術を身に付ているか。 【思】私たちの暮らしと農業、農村に関する課題を発見し、科学瀧な根拠に基づいて創造的に解決できるか。 【態】私たちの暮らしと農業、農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいるか。	0	0	0	
3 学期	②農業と環境のプロジェクト 【知識及び技術】農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、および方法と進め方を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】プロジェクト学習に主体的、協働的に取り組ませる。	・様々な農業生物の栽培、飼育と加工や、で、 ・機力を選集と環境に関する。 ・機力を通して、 ・機力を選集とでは、 ・機力を関する。 ・機力を、 ・機力を、 ・機力を、 ・機力を、 ・機力を、 ・機力を ・	【知】農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、および方法と進め方を理解しているか。 【態】プロジェクト学習に主体的、協働的に取り組んでいるか。	0	0	0	合計
		-					14

科目 農業と情報 高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 農業

単位数: 2 単位 教 科: 農業 科 目: 農業と情報

対象学年組:第 1 学年 A 組

使用教科書: (農業と情報【実教出版】)

教科 農業 の目標:

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

科目 農業と情報

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業に関する情報について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。	や農業関連産業に携わる者として合理的かつ 創造的に解決する力を身に付ける。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興 や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態 度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期	私たちの生活と農業の情報化 【知識及び技能】 情報の特徴と性質を理解するとと も、メディアリテラシーを身に付け ること。 【思考力、判断力、表現力等】 情報化社会の課題を発見し、モラル を守る心構えを身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 農業の情報化に必要な技術の収集に つて自ら学び主体的かつ協働的に取 り組むこと。	 ・指導事項 ①情報化社会における私たちの生活 ②情報とメディア ③情報化とモラル ④農業を支える情報 単元デスト ・教材:教科書 	【知識・技能】 情報の特徴と性質を理解し、メディアリテラシーを身に付けている。 【思考・判断・表現】 情報化社会の課題を発見し、モラルを守る心構えを身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業の情報化に必要な技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	8
	社会を支えるコンピュータ 【知識及び技能】 コンピュータの概要を理解するとともに情報社会の脅威と情報管理の もに情報社会の脅威と情報管理の 要性を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 インターネット検索の種類とその表見し、データや情報の種類とその表見し、デを身に付けること。 【学びに向かう力、人の仕組みと特徴について自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	④インターネットの仕組み⑤情報セキュリティ 単元テスト・教材:教科書	【知識・技能】 コンピュータの概要を理解し、情報社会の脅威と情報管理の重要性を身に付けている。 【思考・判断・表現】 インターネット検索の課題を発見し、データや情報の種類とその表現方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】情報通信ネットワークの仕組みと特徴について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	10
	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を用方 解するとともに、基本操作と利用方 法を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 正確な情報収集についての課題を発 見りに付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 情報を活用するソフトウェアの機能 や操作について自ら学び主体的かつ 協働的に取り組むこと。	単元実技テスト ・教材: 教科書・副教材 パソコン室端末	【知識・技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解するとともに、基本操作と利用方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的取り組もうとしている。	0	0	0	10
2	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】各種ソフトションと情報デザイン 機能の大きな、「思考力、判断力、表現力等】 正確な情報収集についての表現方とともに、記録の重要性とその表現方とは付けること。 【学びに向かう力、人間性等】情報を活用するソフトウェアの機能で操作について組むこと。	⑤問題解決の方法 単元実技テスト ・教材:教科書・副教材 パソコン室端末	【知識・技能】 各種ソフトウェアの特徴と機能を理解するとともに、基本操作と利用方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 正確な情報収集についての課題を発見し、記録の重要性とその表現方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報を活用するソフトウェアの機能や操作について自ら学び主体的かつ協働的取り組もうとしている。	0	0	0	20

	AIやロボットの農業への利用や可能性を考え、スマート農業の仕組みを理	③リモートセンシングとGIS ④人工知能 単元テスト ・教材:教科書・パソコン室端末	【知識・技能】 A I やロボットの農業への利用や可能性を考え、スマート農業の仕組みを理解している。 【思考・判断・表現】 データの重要性や農業情報システムの役割を理解するとともに、本校気象センサの活用方法を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人工知能の概要や農業における利用について自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	10
3 学期	プロジェクト学習の課題を発見し科	・教材:教科書・パソコン室端末	【知識・技能】 農業学習の特徴について理解するとともに、 プロジェクトの発表過程で情報活用能力を身 に付けている。 【思考・判断・表現】 プロジェクト学習の課題を発見し科学的根拠 に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 プロジェクト学習の進め方を理解し自ら学び 主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	12 合計 70

高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 農業 科目 総合実習

 教 科: 農業
 科 目: 総合実習
 単位数: 3
 単位数: 3
 単位

対象学年組:第 1 学年 A 組 組 組 租 租 使用教科書: (畜産(実教出版)、動物看護学(緑書房)

教科 農業 の目標:

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習

の目標

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的 に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技 術が身につくように自ら学んでいる。農業の振 興や社会貢献に主体的に取り組む態度を身に付 けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1	動物管理 (イス、ニワトリ) 動物を論 (モルモット) 【知識及び技能】 飼育動物や植物について理解すると ともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や植物に関する課題を発見 し、合理的かつ創造的に解決する力を 身に付けている。 【学びに向から力、人間性等】 飼育動物や植物に関する情報や技術 動的に取り組む態度を身に付けている。	に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解 させる。 【教材】 ・教科書等	動物管理 (イヌ、ニワトリ) 動物容論 (村水で東京で) 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留意して使用するる。 ②それの動物や植物に高したできる。 ②それその物を説明することができる。 ②表のをもいて理解し、その内容を説明することができる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼持度やできる。 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼環境を理解し、足響・地できる。 ②動植やがたたできる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見った環境をとができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見するとができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見するとができるとができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、自分の考えを表現することができる。 【重物や体的に関して、調査や情報の集を行い、そのお果をきる。 【重物や体物に関しる。 して、調査を持つのおまたで、象し、自分の考えを表現することができる。 「重物や体物に関しる。」 「動物の生態やそれらを取り組む態度】 「動物の生態やそれらを取り組む態度】 「動物の生態やそれらを取り組むに実質に参加している。	0	0	0	16
学期		に身に付けさせる。 ・動物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	動物管理(ネズミ類、ウサギ、モルモット)動物管理(オズミ類、ウサギ、モルモット) 開場整備(アロレント) 開場整備(除草について) 【知識・技能】 ①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安全面と衛生面に留扱い方を説できる。②それぞれの動物や植物に適したができる。②の内容を説明することができる。の内容を説明することができる。の内容を説明することがでできる。の内容を説明することができる。(少ポートに実習内容を分かりやすく記述している。 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境を理解し、足割・判断・表現】 ①動物の飼育環境を理解し、異常を発見さとができる。②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見することができる。②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見することができる。(②動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見することができる。(「主体的に対応することができる。」(主体的に対応することができる。(「主体的に関して、調査や情分の考えを表現することができる。(「重動植物の生態や動物の行動を理解し、異常を発見することができる。(「主体的に関して、調査を持つの表現を表現することができる。(「主体的に関して、調査を持つの協働的と表現することがに関して、調査を持つの協働的に実質に極いている。	0	0	0	16

		動物管理(チンチラ、デグー、小	動物管理(チンチラ、デグー、小鳥等)				
	鳥等) 動物を論(ハムスター) 圃場整備(樹木の剪定②) 【知識及が技能】 飼育をも、管理技術を身にでいて理解付けている。 【思考力動かや植物に利力等とした。 【思考育動や平植物に創造を発見力を向からのが、人間は等) 一般では、表現力等題解 発見力を向からが、人間性等 一般では、表現力等といる。 「学飼育の収集のでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	馬等) 動物各論 (ハムスター) 圃場整備 (樹木の剪定②) 【指導事項】・動植物の管理方法について実践 的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解 させる。 【教材】 ・教科書等	動物各論 (ハムスター) 圃場整備 (ハムスター) 圃場整備 (村木の剪定②) 【知識・技能】①実安全面と衛生面に留意して使用明できる。道具・資材の扱い方を説明できる。道具・資材の扱い方を説明できる。②それぞれの助物や植物にあるといてきる。②それぞれの動物や植物にあるといれる。②を表し、他できる。②を表し、他できる。②の表した管理のできる。②の表したでは、しし、といれる。【思動かやを記明す習大力を表現】の動かを記述したで変にできる。②動発を力がである。「思考・判断・環境を理解し、で管理のぞれにとどがあった。」といれる。「思考・判断・環境を理解し、で管理のぞれにとがあるとがでした。る。「思考・判断・環境を理解し、で管理がある。」といいる。「思考・判断・環境を理解に、といる。「思考・判断・環境を理解に、といる。」を関して対応することができる。 「思考・判断・表現】ののぞれに関している。 「思考・判断・環境を理解に、常常のぞれたででは、対して対応することができる。」の動物や校内の結果をもさきる。「重対を対して対応することがで態度」のの特別をもれた。「動物やをしている。」を対象がで、表現に、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象が	0	0	0	16
2学期	動物管理 (ハ虫類、サル) 動物各語 (ウサギ) 圃場整備 (刈払い機使用法) 【知識動動物や植物について理解するととなる。 【思考動物や植物についま現力等】 飼育し、もない。 【思考動物や植物についる。 【思考動物や植物についきのでである。 【思考育動物や植物に創造的に、 発見し、からないでいる。 【学がで動物では、人間性等】 質がでいる。 【学がで動像について、 技術の協働的に取り組む態度を は付けている。	動物管理 (ハ虫類、サル) 動物各論 (ウサギ) 圃場整備 (刈払い機使用法) 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践 的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】 ・教科書等	動物管理 (ハ虫類、サル)動物管論 (ウサギ) 圃場整備 (ウサギ) 圃場整備 (対払い機使用法) 【知識場を選定とができる。道具・資材を選定とができる。道具・資材の扱い方を説明できる。 ②それぞれの動物や植物に適ことが理解 たるののないできる。 ②それぞれの動物や植物に適ことが理解としたで理解したででをした。 3動物やを説明すたとができる。 ②を発し、その内容をを分かりの特性できる。 (1動物をおして対応するのできる。 第四ででして対応する。 と発育育動をおりといる。 異常を発見育動をおりたできる。 調査し、といると、といると、といると、といると、といると、といると、といると、といる	0	0	0	16
	動物管理 (グウガメ、アヒル)動物各音論 (小鳥) 圃場整備 (果樹の剪定) 【知識及び技能】 飼育を動物やででででででである。 【思考力動物や植物について理解するととる。 【思考力力を引き、判断力、表現力等関値を発見し、会理的かつは、制断力に関節である。 【思考力がに関節である。 【受力を身に付けている。 【学行の物やを植物に関いる。 【学技術の協働的に取り組む態度を身に付けている。	動物管理(ゾウガメ、アヒル)動物各論(小鳥) 圃場整備(果樹の剪定) 【指導事項】・動植物の管理方法について実践 的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解させる。 【教材】・教科書等	動物管理(ソウガメ、アヒル)動物を論(外鳥) 圃場整備(果樹の剪定) 【知識・技能】 し、できる。道具・資材を選定とができる。道具・資材を選定とがで。 ②それぞれの動物や植物に適ことがで理解とし、できる。は、生産を変し、をできる。ののでは、ままないののでは、ままないのでは、ままないで、ののでは、ままないで、ののでは、ままないで、では、ままないで、では、ままないで、では、ままないで、では、ままないで、では、ままないで、では、ままないで、では、ままないで、では、ままないで、では、ままないで、では、ままないで、では、まないで、では、まないで、では、まないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、	0	0	0	16

3学期	るとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や植物に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決 する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や植物に関する情報や 技術の収集について自ら学び主体 的かつ協働的に取り組む態度を身 に付けている。	・動植物の管理方法について実践 的に身に付けさせる。	動物管理(飼育動物全般) 動物管語(フターの報察) 【知識・技能】 (知識・技能】 (知識・技能】 (知識・技能】 (上、安きる。道具・資材を選定し、ができる。道具・資材の扱い方を説明できる。道具・資材の扱い方を説明できる。。②それぞれの動物や植物に適した管理で達したができる。。②それぞれの物容を性や習性にさいる。②それぞれの物容特性や習性についる。②を発に実践動物や権も説明すでからいる。(1とからに変型内容を分かりする。では、表現、目の地でである。といる。 【思考・判断・表現】 (1)動かのおいたできるのでは、異常を変し、では、表現、は、、との内容をトに変したできる。ないと、との方がで関し、、異常の知れでは、異常の知れでは、異常を発見し、では、異常を発力の生対応力の結果ともとに、表現、情自	0	0	0	25
			分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物や植物に関心をもち、主体的かつ協働				合計
			的に実習に参加している。 ②動植物の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。				105

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度(1学年用) 教科農業 科目 飼育と環境

教 科:農業 科 目:飼育と環境 単位数: 3 単位

対象学年組:第 1 学年 A 組 組 組 組 組

使用教科書: (畜産 (実教)

教科 農業 の目標:

【知 識 及 び 技 能 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の復興や社 会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 飼育と環境

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
るとともに、関連する技術を身に付けてい	業関連産業に携わるものとして合理的かつ創 造的に解決する力を身に付けている。	飼育と環境について農業生物の飼育や管理に 応用できるように自ら学び、農業の復興や社 会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を 身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学	働的に取り組む態度を身に付け ている。	【指導項目】 ①講義:質動物飼育の心構え、日常の飼育管理と点検 実習:動物の飼育管理(イス、 ブリ気候因子について(温度・ 湿度・風速) ②講義:日常の飼育管理のいて (温度・ ときなが、過度・風速) (温度・ は温度・ は温度・ は温度・ は温度・ は温度・ は温度・ は温度・ は	【知識・技能】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。(観な道・・資額を記明できる。(観な道具・・資額を記明することができる。) (観察・生地で表別を関している。) (観察・生地で表別を動物の特性やでは、できるのできるが、ないのできるが、ないのできるが、ないのできるが、ないのできるが、ないのできるが、ないのででは、は、ないのでは、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、ないのでは、は、ないので	0	0	0	12
	単元「動物の栄養と飼料」 【知識及び技能】 動物の栄養と飼料について理 動物の栄養にに物りを が表して、 はでいる。 、判断と自動物のでは、 、判断を発見した。 、判断のには、 、判断のには、 、判断のには、 、判断のには、 、判断のには、 、判断のには、 、判断のには、 、判断のには、 、判断のには、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	【指導第1】 ①講義:作物の制格について 理理、計算者:作業務の制度を ②講義:作業務の教性・ で管理。 ③講義:作業務の教性・ ・ 管理。 ③講義:一、 管理。 ③講義・・ で管理。 ③講義・・ で管理。 ④講義・・ でで理。 ④講義・・ でででででででです。 「書習・・ でででででででです。 「書選・・ ででででででででです。 「書選・・ ででのででででででです。 「書選・・ でででででででででです。 「書、一、 でででででででででででです。 「書、一、 ででででででででででででででででででいる。 「のでは、 ででは、 でででででででででででででででででででででででででででででで	【知識・技能】 ①各作物には関いた栽培管理方法を行うことができる。(観察・レボート) ②実習場面において適切な道具・資具・ポート) ②東で表別をできる。(観察・レができる。(観察・レができる。をできるの察察・レができるの。をでして、は、一人のできる。(観光をできる。(観光をできる。(単上をは、のきる。(単上をは、といるのできなができる。(単上をは、といるのできなができる。(単上をは、といるのできなができる。(単上をは、といるのでは、といるのでは、といるのでは、といるのでは、といるのでは、ないのでは、ないのでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	0	0	0	20

2 学	理方法を理解するとともに、、適でいる。 【思考知知力、表現力等是 動物同育に対する造的に解析 動物の理的かつ創造的に の力を身に付けている。 、力を身に付けている。 、力を身に付けている。 、力を少に向から力、人情性の 、力をがに向する時代ののでは、 動物のに取り組む態度を身に付けている。	度・湿度・風速) ④講義:栄養と飼料 実習:動物の飼育管理(ニワト リ、ウコックイ)物理・科学的因子に ついて(換気・臭気・照明・ 音)住居因子について(ケージ 環境) ⑤講義:動物性飼料 実習:動物の飼育管理(ヨウム、 (クコ)物理・科学的因子について	【知識・技能】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、ト) ②実習場面において適切な道具・資網察・レ資解察・して調理をし、使用することができる。(観察・レ資解をし、使用することができる。(観察・サック類やりの動物を関性についりできる。(単元テスト) ④大スト) ④レポートに実習内下りできる。(観察・サートに実習ができる。(観察・サートに実理ができる。(観察・アスト) ●といま・判断できまでいる。(観察・不レート) ②各動物の旨とができまでいる。(観察・不レート) ②各動物を理解し、適切な察・不し、観察・できている。(観察・不し、観をの性康観ができている。(観察・不し、一主体的に学習の生態できました。(世界のに対したの管理に関心をもち、行動を関係を表している。(でポート)	0	0	0	17
子期	単元「採卵鶏の飼育」 【知識及び技能】 農業とも切れた。 ととも切れた。 「根理技術ををとも切れた。 「根書では、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	【指導項目】 ①講演 (1) がないに観いないに観いないに観いないに観いに観いに観いに観いに観いというないのの観にに観いないのの観にというないのでは、一次のでは観いながながなが、では、一次のでは、一次のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	【知識・技能】 ①採卵鶏にた飼育管理方法を行い、説明することができる。(観察・レで資材を資料できる。適切なきる。変え、使用することができる。(観察・してい方を説明することができる。(観察・してい方を説明をきる。(観察・してい方を説明を生理を担づななり、)。②採卵鶏るの生理をはできる。(単している・判断・できたのできた。(している・判断・できたのできた。(観察・ルート)とができたの性に関連を担いる。(は観察・ボート)の生態をできたでは、観察ができたのは、は観察ができたのは、は観察ができた。(観察ができたのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	0	0	0	30
3	単元「動物の飼育管理」 【知識及び技能】 様々な環動物に与育管理」 「無数で技能」が動物に与育を 意見が動物に与育ででは、 一般では、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を	【指導項目】 (清義:動物に適する飼育器材 実習:動物の飼育管理(け) ギ、モルモット)生物因子について (同種動物、異種動物) (8)講義:飼育器材の消毒 実習:動物の飼育管理(サル、 爬虫類)	【知識・技能】 ①各類な問題と対して関連を対して、というの内容を説明できる。(観察・レン資格を選定し、に対して、というないできる。(観察・レン資格を選定し、は、生物の動物を関係を対して、は、生物の動物を動きを対して、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	0	0	0	10

学	単元「採卵鶏の飼育」	【指導項目】	【知識・技能】				
	【知識及び技能】 農業を畜産業の視点から理解 するとともな業を育産理技術を身 に付けている。 【思育方、判断力、表現力等】 【飼う、判断力、表現題解 見し、力を身にが対する。 見し、力を身に付けている。 【学び向と環境にから力大する情報できる。 「学びでと環境にいて、していて、 「学がと関いて、して、 、一、の収集にのいて、 、の収集にのいて、 、 、のいて、 、の、 、の、 、の、 、の、 、 、の、 、の、 、の、 、の、 、の、	【指導項目】 ③講義:ニワトリの品種について 実習:大びなの観察 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	①採卵鶏に適した飼育管理方法を行い、説明することができる。(観察・レポート)②実習場面において適切な道具・資料を選定し、使用することができる。道果・資料を資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート)③採卵鶏の生理生態を理解し、説明することができる。(単元テスト)④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)【思考・判断・表現】 ①採卵鶏の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。(観察・レ	0	0	0	16
	身に付けている。		ポート) ②採卵鶏の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・レポート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①採卵鶏及びその飼育管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)				合計
			②採卵鶏及びその飼育管理に関心をもち、 積極的に情報を集め、レポートに記述している。 (レポート)				105

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 農業 科目 課題研究

 教 科: 農業
 科 目: 課題研究
 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 A 組~

使用教科書: (

教科 農業 の目標:

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に 付けている。

)

【学びに向かうカ、人間性等】 貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 課題研究

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実験実習の手順や方法が身についており、記録 簿の作成や報告書の作成が的確にできる。プロ ジェクト学習や調査研究に必要な知識が身につ いている。	することができる。合理的かつ創造的に解決 する力を身に付けている。	課題の設定や計画立案などから研究活動まで 意欲的に熱心に取り組んでいる。また考察結 果から、研究の状況を判断し実験・実習の変 更や追加ができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学	「職業資格の取得」 「問知識及に対している。 「問知識及に関するとともれていてきる等にしていてきる等によるとという。 と表記さとと表記さいできる等とのできるでいてきる等と表記さいできるでいてきるでいてきるでいる。 「と思考育動題の解決力設定通化決のを表現題を習が解決のでは、と表現ののでは、表現ののでは、表現ののでは、表現ののでは、表現ののでは、表現ののでは、表現ののでは、まないのでは、まな	発的、総合的な学習態度を育てる。 【内容】 農業に関する専門的な知識を習得させる。 動物(家畜)に関する専門的な知識を習得させる。	【知識・技能】 ①農業に関する専門的な知識と技術を理解し その内容を説明できる。(提出課題) ②農作物や動物(家畜)の特性や習性につい て理解し、生物分類や動物種について選解し、生物分類や動物種についで きる。(単元テスト) ③作成した問題の解説を分かりやすく的確に 発表することができる(プレゼンテーション) 【思考・判断・表現】 ①各動物の自言環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。(観察・提出課題) ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・提出課題) ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・提出に関係を表現に対している。(観察・提出) ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察) ②関き手に伝わりやすいよう積極的に情報を集め、分かりやすく説明できる。(プレゼンテーション)	0	0	0	18
2 学期	「各一年報報」である。 「各一年報報」である。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にい対す。 「会」にいがあり、ので、会」にいいで、会」にいいで、できる。 「会」にいいで、できる。 「会」にいいで、できる。 「会」にいいで、できる。 「会」にいいで、できる。 「会」にいいで、できる。 「会」にいいて関して、にいいで、とにいいで、は、にいいで、にいいで、は、にいいで、は、にいいで、は、にいいで、は、にいいで、は、にいいで、は、にいいで、は、にいいで、は、にいいで、は、は、にいいで、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	テーマに沿った実施計画を立てさせる。実際に調査研究をさせる。	【知識・技能】 ①農業に関する専門的な知識と技術を理解し その内容を説明できる。(提出課題) ②農作物や動物(家畜)の特性や習性につい で理解し、生物分類や動物種についできる。(単元テスト) ③作成した問題の解説を分かりやすく的確に 発表することができる(プレゼンテーション) 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。(観察・提出課題) ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・提出課題) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びに対る。(観察・提出課題) 【主体的に学習に取り組む態度】 ②各動物及びに対している。(観察・提出課題) 【主体的に学習に取り組む態度】 ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・提出課題)	0	0	0	20

【知識及び技能】 農業および動物(家畜)に関し て、様々にアプローチしている他者 の意見に耳を傾け、農業に対する理	のテーマに沿って計画立案・実施・まとめまでを行う力を養う。 【内容】 テーマに沿った実施計画を立てさせる。実際に調査研究をさせる。 3年次における研究テーマの設定、および研究計画を立てさせる。	【知識・技能】 ①農業に関する専門的な知識と技術を理解し ②農作物や動物(家畜)の特性や習性につい て理解し、生物分類や動物種について理解し、生物分類や動物種についてで きる。(単元テスト) ③作成した問題の解説を分かりやすく的確に 発表することができる(プレゼンテーション) 【思考・判断・表現】 ①各動物の飼育環境を理解し、適切な飼育環境にすることができている。(観察・提出課題) ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・提出課題) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動物及びその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察) ②自いを対している。(観察) ②自いを対している。(観察) ②自いを対している。(でプレゼンテーション)	0	0	0	14
--	---	---	---	---	---	----

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 農業 科目 総合実習

単位数: 3 単位 教 科: 農業 科 目: 総合実習

対象学年組:第 2 学年 A 組~

使用教科書: (畜産(実教出版)、動物看護学(緑書房)

教科 農業 の目標:

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

)

【学びに向かうカ、人間性等】 貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 総合実習

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や 技術が身につくように自ら学んでいる。農業 の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を 身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期	【知識及び技能】 飼育動物や生物実験について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物や生物実験に関する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に	動植物の生態や環境について理解させる。【教材】教科書等	アクアリウン (ペイス) (ペイス) (ペイス) (ペイス) (ペイス) (ペイス) (ペイス) (実験基礎・技能】 (実験基礎・技能】 (実験基礎・技能】 で適日の扱い) (実施である。 道具・資材を認定したを説明する。 道具・資材を認定したできる。 (②それぞの内容を説明することが変を入かりやすく記述し、動物の特性とできる分かりやすく記述している。 (③をその内内容を必要性ができな分かりやすく記述している。 (②動物の道した実習内を生物実験を理解し、にといの生態やあり、 監機中でで態や動物の行動をきる収集を発見しかでで態や動物の行動をきる収集を発見しかの生態やで変にできたでで変更ない、できにできた。 (②動権物の生きできる。 (②動権を発見したできる。 (②動性の関心を発見しない。) (②動性の関心を発見した。) (②動性の関心を発見した。) (②動性の関心を表現を発見している。) (②動性の関心を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	0	0	0	36

2 学期	アクアリウム (魚類・水草) グルーミング (小動物) 実験基礎 (顕微鏡) 【知識及び技能】 飼育動物や生物実験について理解するとともに、管理技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物や生物実験に関立し解決を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身し、方間性等】 を発見しずびに向から力、人間性等】 一般でびに向かと生物実験に関する情報体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理 解させる。	アクアリウム (魚類・水草) グルーミング (小動物) 実験基礎 (顕微鏡) 【知識・技能】 (①実習場面において適切な道具・資材を選定し、安音を高い、できる。 (②をおきれての動物に関するのできる。 (②をおきれての動物に関するのできる。 (④レボできる。 (④レボできる。 (④ルボートにとができる)ができる。 (④ルボートにとかできる)ができる。 (④ルボートにとかできる)ができな説明することが容を分かりやすく記述している。 (④レボートにとかできなり、やすく記述している。 (④レボートにとかできないり、を理解し、を管理ができる。 (④ルボートにとかできないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	0	0	0	45
3 学期	アクアリウム (魚類・水草) グルーミング (イヌのクリッカート レーニング) 実験基礎 (土壌生物の観察) 【知識動物や生物実験について理解するとと、管理技術を身に付けている。 【思考動物や生物実験に関するに解決 一個では、判断力、表現力等】 一個では、表現力等】 一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、	トレーニング) 【指導事項】 ・動植物の管理方法について実践 的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理 解させる。 【教材】	アクアリング (0	0	0	24 合計 105

科目 飼育と環境 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 農業

科 目: 飼育と環境 単位数: 1 単位 教 科: 農業

対象学年組:第 2 学年 A 組~ 使用教科書: (動物バイオテクノロジー

)

教科 農業 の目標:

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に 付けている。

【学びに向かうカ、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の復興や社会 貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 飼育と環境

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
飼育と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	感染症について合理的かつ創造的に解決する 力を身に付けている。	飼育と環境について農業生物の飼育や管理に 応用できるように自ら学び、農業の復興や社 会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を 身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	「動物の飼養管理と衛播について」 【知識及び技能】 様々を動物に与える影響と各動物に与える影響と各動物に多りで 一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般である。 「一般では一般では一般である。」 「一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では一般では	動物由来感染症の定義について 実習:動物の飼育管理 ③講義:感染源の種類について 実習:動物の飼育管理	【知識・技能】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。(観察な道具・資材を選定し、資素を記りて適切な。(観察・レル・資素・レンができる。(観察・レンボート)の動物の特性でついて理解し、生物分類や動物種について理解し、生物テスト)のできる。(レポート)のできる。(レポート)のできる。(レポート)のできる。(レポート)のでは、実習のででででは、適切なにする。(レポート)のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	0	0	0	5
	定期考査			0	0		1
2 学期	【知識及び技能】 様々な環境要因が動物に与える影響を含動物にあった飼育管理方育管理財育管理自動をとともいる。 理解する身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】動物飼育に対する課題を発見し、自己で付けている。 の理的けている。 (一世のは、一世のでは、一世のでは、一世のでは、自己では、自己では、自己では、自己では、自己では、自己では、自己では、自己	実習:動物の飼育管理 ②講義:狂犬病や鳥インフルエンザなどの感染症の予防や治療について実習:動物の飼育管理 ③講義:狂犬病や鳥インフルエンザなどの感染症の予防や治療につ	【知識・技能】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。(観察・レポート)②実習場面において適り具・資料を選定し、使用することができる。(観察・レポート)③動物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。(単元テスト)④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)【思考・判断・環境を理解し、適切な飼育でしたする。とができている。(観察・レルポート)②各動物の生態や行動を理解し、体調不がした事ができている。(観察・レポート)②各動物の生態や行動を理解し、体調がより、②各動物の生態や行動を理解し、体調がより、「全な動物の生態を行動を理解し、体調がより、「全な動物の生態を行動を理解し、体調がより、「全な動物の生態を行動を理解し、体調がより、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、「一、」」(一、「一、「一、「一、「一、「一、」(一、「一、「一、」(一、「一、」(一、一、「一、」(一、一、「一、」(一、一、一、「一、」(一、一、一、「一、一、一、一、「一、一、一、「一、一、一、一、「一、一、一、一、「一、一、一、一、「一、	0	0	0	
	定期考査			0	0		1

3 学期	症」 【知識及び技能】 様々な環境要因が動物に与える影響と各動物にあるため質質を有力なともに、のる。 【理解するとともに付けている。 【思動物飼育に対する表題を発見しを理的かつ創造的に解決する方のに付けている。 【学が飼育の情報や技かつ協働的に対して自らとと呼びに向から力とは行いている。 【学り物飼育の情報やけいの場合に取り組む態度を身に付けている。	など、身近な感染症について 治療や予防について 実習:動物の飼育管理 ②講義:真菌・細菌による感染症の 種類、特徴、対策について 実習:動物の飼育管理	【知識・技能】 ①各動物に適した飼育管理方法を行い、その内容を説明できる。(観察・レポート)選定し、使用することができる。(観察・レポート)③動物の特性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。(単元テスト)④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)【思各動物の自育環境を理解し、適観察・レルポート)②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等には表明を表示できている。(観察・レポート)②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・レポート)②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・レポート)②各動物及びたりで理に関心を表し、情極的に学習に取り組む態度】 ①各自動物及びたの管理に関心をもち、積極的に実習に変加している。(観察)	0	0	0	6	
	定期考査			0	0		1	
						合計	14	

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 農業 科目 畜産

教 科: 農業 科 目: 畜産 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 A 組~ 組

使用教科書: (畜産(実教出版)、動物看護学(緑書房))

の目標:

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

の目標: 科目 畜産

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	産業に携わるものとして合理的かつ創造的に 解決する力を身に付けている。	畜産を通して職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に着けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 動物の栄養と飼料、動物の解剖と生理に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的か つ協働的に取り組む態度を身に付けている。	実習:動物飼育管理 ・教科書 ・自作ブリント ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】 ①各作物に適した栽培管理方法、それぞれの動物に適した飼育管理を行うことができる。(観察・レポート) ②実習場面において適切な道具・資材を適定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート) ③植物や動物の特性および習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。(単元テスト) 【思考・判断・表現】 ①各作物の栽培環境、各動物の飼育環境を理解し、適切な栽培および飼育環境にすることができている。(観察・レポート) ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・レポート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①各動植物およびその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察) ②各動物及び飼料作物のその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポート)	0	0	0	14
2 学期	動物の栄養と無機に対する情報や技術の収集に対する情報や技術の収集について自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	指導更は1 の講義 実姿を観論 実習・動勢の骨松について 実習・動物の骨をについて 実別・動物の骨をについて 実別・動物の関音で理 の講義・光美学の観論 実施・大学・変別・変別・大学・変別・変別・変別・変別・変別・変別・大学・変別・変別・大学・変別・変別・大学・変別・変別・大学・変別・変別・大学・変別・変別・変別・変別・変別・変別・変別・変別・変別・変別・変別・変別・変別・	知識・技能 ①名作物に選した栽培管理方法、それぞれの動物に適した飼育管理を行うことができる。(観察・レポート) ②実習場面において適の意見・資材を選定し、使用することができる。道具・資材の扱い方を説明できる。(観察・レポート) ②素材の扱い方を説明できる。(観察・レポート) 「思考・判断・表現] ①各作物の栽培環境、各動物の飼育環境を選解し、適切な栽培および飼育環境にすることができている。(観察・レポート) 【思考・判断・表現】 ①各作物の栽培環境、各動物の飼育環境を選解し、適切な栽培および飼育環境にすることができている。(観察・レポート) 「基体的に学習に取り組む態度】 「全新植物およびその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観 窓) ②各動物及び飼料件物のその管理に関心をもち、積極的に情報を集め、レポート に記述している。(レポート)	0	0	0	18
3 学期		り、舌触りなど) 実習: 圃場整備 講義: 感覚器について 実習: 動態器について	国職・技能) ①各作物に適した栽培管理方法、それぞれの動物に適した飼育管理を行うことが できる。(観察・レポート) ②実習場面において適切な道見・資材を選定し、使用することができる。道具・ 資材の扱い力を説明できる。(観察・レポート) ②素物や動物の特性はよび習性について理解し、生物分類や動物種について説明 できる。(単元テスト) 【思考・判断・表現】 ①各作物の栽培環境、各動物の飼育環境を選解し、適切な栽培および飼育環境に することができている。(観察・レポート) ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・レポート) 「主体のに必要に取り組り態度】 ②各動物の生態や行動を理解し、体調不良等の健康観察ができている。(観察・レポート) 「全条植物およびその管理に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観 ②	0	0	0	12 合計 44

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 農業 科目 生物活用

教 科: 農業 科 目: 生物活用 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 A 組~ 組

教科担当者: (A組:橋場瑠輝 松井英美) (組:) (組:) (組:

使用教科書: (農文協「生物活用」、緑書房「動物看護学」

教科 農業 の目標:

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 生物活用

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	農業関連産業に携わる者として合理的かつ創 造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や 技術が身につくように自ら学んでいる。農業 の振興や社会貢献に主体的に取り組む態度を 身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	単元「園芸作物の栽培と利用」 「動物の飼育管理」 栽培実習 動物の飼育管理実習(イヌ・ブタの 飼育管理) 【知識及び技能】 飼育動物イヌ、ブタや栽培植物に	・動植物の生態や環境について理解 させる。	【知識・技能】 ①それぞれの動物イヌ、ブタや栽培植物に適した管理方法を実践し、その内容を説明することができる。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安全面と衛生面に留意して使用することができる。道具の扱い方を説明できる。 ③動物イヌ、ブタや栽培植物の特性や習性に	0	0	0	
1学期	単元「園芸作物の育理」 「動物の管理」 「動物の管理」 「動物の管理」 「動物の管理」 「動育管コ、ノークの飼育でコークの飼育でコークの側面ででである。 「動物のになり、手でである。」 「知識数なび技能】 「知識なびないである。」 「知識などないでするでは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	物へチマの正しい栽培方法について実践的に身に付けさせる。 ・動植物の生態や環境について理解 させる。 【教材】・教科書等 ・ICT端末を活用	【知識・技能】 ①それぞれの動物にはする。 「知識・技能】 のでは、人ででは、ないでは、人ででは、人ででは、人ででは、人ででは、人ででは、人ででは、人ででは、人	0	0	0	14

「動物の飼育管理」 園芸作物の栽培と活用 ヘチマの栽培(誘引と整校) 動物の飼育管理実習(モルモット、ウサギ) 飼育動物モルモット、ウサギや栽培 植物ヘチマについて理解するととも に、飼育管理及び栽培技術を身に付けている。	法、栽培植物へチマの正しい栽 方法について実践的に身に付け せる。 動植物の生態や環境について理 せる。	【知識・技能】 ①それぞれの動物モルモット、ウサギや栽培 植物へチマに適したとが可さることがの容を説明することがのな道具を全面ととが明古るにとが明古るにとが明古るにとが明古るにとが明古るにとが中できる。道具を行ってできた。 ②実習衛生面におりますを説明する。 ③動物モルヤット、ウサギを表にしてがいる。 ③動物モットの特性やきなートにできる。を分かりやすく記述している。 【思考の一段にできる。を分かりやすく記述している。 【思考のの特性やることがで表現】 ①解している。 【思考ののもに変習は、できる。のでは、できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。のできながでは、一般にでいる。 のは、に適かの生産がで理解したができる。のでは、できる。のでは、大きないが、カサザギや栽培植物では、まないが、カサザギや栽培植物では、まないのできる。。のでは、まないのできないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないできないできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのできないでは、まないのでは、まないは、まないは、まないはないは、まないはないはないはないはないはないはないはないはないはないればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	0	0	0	6
---	--	---	---	---	---	---

単元「園芸作物の栽培と利用」 【指導事項】 【知識・技能】 ・動物サル、モモンガの管理方 法、栽培植物へチマの正しい栽 「動物の飼育管理」 ①それぞれの動物サル、モモンガや栽培植物 ヘチマに適した管理方法を実践し、その内容 を説明することができる。 園芸作物の栽培と活用 圏ボト物シスポーミロバ ヘチマの栽培(収穫と圃場整備) 動物の飼育管理実習(サル、フクロ 収穫方法について実践的に身 培、 ②実習場面において適切な道具を選定し、安 に付けさせる。 モモンガ) ・動植物の生態や環境について理 全面と衛生面に留意して使用することができ る。道具の扱い方を説明できる 飼育動物サル、モモンガや栽培植物 ヘチマについて理解するとともに、 ③動物サル、モモンガや栽培植物へチマの特 させる。 性や習性について理解し、その内容を説明す 飼育管理及び栽培技術を身に付けて 【教材】 ことができる 教科書等 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述し いる ・ICT端末を活用 ている。 【思考力、判断力、表現力等】 同育動物サル、モモンガや栽培植物へチマに関する課題を発見し、合 【指導事項】 【思考・判断・表現】 ・動物ネズミ、ハムスター、チン チラの管理方法、栽培植物ヘチマ ①動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理 理的かつ創造的に解決する力を身に 解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機 応変に適切な管理をすることができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、観察 の収穫後の活用方法を実践的に身 付けている。 に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物サル、モモンガや栽培植物 ヘチマに関する情報や技術の収集に ・動植物の生態や環境について理 を行い異常を発見して対応することができ 期 ③飼育動物サル、モモンガや栽培植物ヘチマ させる。 に関して、調査や情報収集を行い、その結果 をもとに考察し、自分の考えを表現すること ついて自ら学び主体的かつ協働的に 取り組む態度を身に付けている。 【教材】 教科書等 ができる。 単元「園芸作物の栽培と利用」 ・ICT端末を活用 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物サル、モモンガや栽培植物へチマに関 心をもち、主体的かつ協働的に実習に参加し 「動物の飼育管理」 園芸作物の栽培と活用 ヘチマの活用(中抜き、乾燥) 動物の飼育管理実習(ネズミ、ハム スター、チンチラ) ②動物サル、モモンガや栽培植物へチマの生 態やそれらを取り巻く環境に興味関心をも 飼育動物ネズミ、ハムスター、チン チラや栽培植物ヘチマについて理解 ち、積極的に情報を集め、レポートに記述し ている. するとともに、飼育管理及び栽培技 術を身に付けている。 \bigcirc \bigcirc 12 【知識・技能】 (予記を) ないに () それぞれの動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物ヘチマに適した収穫後の作業を実践し、その内容を説明することができ 【思考力、判断力、表現力等】 飼育動物ネズミ、ハムスター、チ ンチラや栽培植物へチマに関する課 題を発見し、合理的かつ創造的に解 決する力を身に付けている。 ②実習場面において適切な道具を選定し、安 全面と衛生面に留意して使用することができ る。道具の扱い方を説明できる。 ③動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培 植物ヘチマの特性や習性について理解し、そ の内容を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 飼育動物ネズミ、ハムスター、チン チラや栽培植物ヘチマに関する情報 や技術の収集について自ら学び主体 ④レポートに実習内容を分かりやすく記述し 的かつ協働的に取り組む態度を身に ている。 付けている. 【思考・判断・表現】 ①動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理 解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機 応変に適切な管理をすることができる。 ②動植物の生態や動物の行動を理解し、観察 を行い異常を発見して対応することができ ③飼育動物ネズミ、ハムスター、チンチラや の時間動物がハス、ハムハア 栽培植物へチマに関して、調査や情報収集を 行い、その結果をもとに考察し、自分の考え を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培 動物ヘチマに関心をもち、主体的かつ協働的 に実習に参加している。 ②動物ネズミ、ハムスター、チンチラや栽培植物へチマの生態やそれらを取り巻く環境に

興味関心をもち、積極的に情報を集め、レ

ポートに記述している。

_	500 - 5 - 11 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12	L Lucylete or 1	I I am II No.				
	単元「園芸作物の栽培と利用」	【指導事項】	【知識・技能】				
	「動物の飼育管理」		①それぞれの動物カメ、ヘビ、トカゲや栽培				
		物へチマの収穫後の活用方法を実	植物へチマに適した収穫後の作業を実践し、				
		践的に身に付けさせる。	その内容を説明することができる。				
	動物の飼育管理実習(爬虫類)	・動植物の生態や環境について理	②実習場面において適切な道具を選定し、安				
		解	全面と衛生面に留意して使用することができ				
	飼育動物爬虫類や栽培植物へチマに		る。道具の扱い方を説明できる。				
	ついて理解するとともに、飼育管理		③動物カメ、ヘビ、トカゲや栽培植物ヘチマ				
	及び栽培活用技術を身に付けてい	【教材】	の特性や習性について理解し、その内容を説				
	る。	・教科書等	明することができる。				
		・ICT端末を活用	④レポートに実習内容を分かりやすく記述し				
	【思考力、判断力、表現力等】		ている。				
	飼育動物爬虫類や栽培植物へチマ						
	に関する課題を発見し、合理的かつ		【思考・判断・表現】				
	創造的に解決する力を身に付けてい		①動物の飼育環境や栽培植物の生育環境を理				
	る。		解し、それぞれに適した環境をつくり、臨機				
3			応変に適切な管理をすることができる。	0	0	0	12
₩	【学びに向かう力、人間性等】		②動植物の生態や動物の行動を理解し、観察				
#0	飼育動物爬虫類や栽培植物へチマに		を行い異常を発見して対応することができ				
州	関する情報や技術の収集について自		る。				
	ら字び王体的かつ筋側的に取り組む		③飼育動物カメ、ヘビ、トカゲや栽培植物へ				
	態度を身に付けている。		チマに関して、調査や情報収集を行い、その				
			結果をもとに考察し、自分の考えを表現する				
			ことができる。				
			【主体的に学習に取り組む態度】				
			①動物カメ、ヘビ、トカゲや栽培植物ヘチマ				
			に関心をもち、主体的かつ協働的に実習に参				
			加している。				
			②動物カメ、ヘビ、トカゲや栽培植物ヘチマ				
			の生態やそれらを取り巻く環境に興味関心を				
			もち、積極的に情報を集め、レポートに記述				
			している。				
							合計
							44

科目 環境調査 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 農業

単位数: 2 単位 教 科: 農業 科 目: 環境調査

対象学年組:第 2 学年 A 組~

使用教科書: (樹木・草花などの図鑑 水生生物や鳥類の図鑑 自作プリント

教科 農業 の目標:

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

(思考力、判断力、表現力等) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に 【思考力、判断力、表現力等】付けている。

【学びに向かうカ、人間性等】 貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 環境調査

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物観察について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。	現状の確認および現状について合理的かつ創	環境調査について安全に配慮した調査方法を 検討したり、社会的環境的側面から検討する などよりよい方法を考え出そうとしている。

性がの観察・水中の微生物・水質検		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
世物の観察、花粉の観察、土中の小 【指導項目】	1 学期	査 地球の歴史・人間と環境問題・生態 系の構造と機能について 【知識及び技能】 自分自身を取り巻く環境に関する 事物・現象に対して意欲的に関りで 環境に対する豊かな感受性や探究心 を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 境に関する問題を見出して多面的・ 境に関する問題を見出して身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 環境に関する問題に関してあいける 【学びに向かる計題に関しながら間 環境に関する問題に関しながら問	①講義:人間の誕生による地球環境の変化 実習:各種調査・観察の留意点を理解させる。生物観察の知識と技術を習得させる。 ②講義:校内の生物とその環境についてのが生物の一に定方、独領を習得させる。となり、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	①調査対象に適した方法を実施し、その内容を説明できる。(観察・レポート)②実習場面において適具・資料を選定し、使用することができる。(観察・レポート)③生物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。(単元テスト)。(レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)【思考・判断・表現】①各生物の生態や行動を理解し、生態系の現状や今後の推移について考察している。(観察・レポート)【主体的に学習に取り組む態度】①校内外の生物に関心をもち、積極的に実習に参加の生物に関心をもち、積極的に情報	0	0	0	14
動物調査、種の散布、木の実の実物 標本づくり、動物による環境変化 【知識及び技能】 生物観察の知識と技術を習得させる。各種調査・観察の留意点を理解 させる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な自然や現象の中から自ら環 遺に関する問題を見出して多面的・ を治に解決に導く能力を身に付けるとの観察、種子の観察・ 中小助物の観察、種子の観察・セポート) (②講義:植物による土壌環境の変 化、環境変化に伴う生物の適応 実習:植物・昆虫野鳥・の観察・ とつに解決に導く能力を身に付ける。 第一中小助物の観察、種子の観察・ 力を培う (観察) () ()とびに向かう力、人間性等】 動物による環境変化や相互作用について自ら責任ある行動をとり、協力を培う (3)講義:動物の環境適応の法則力を培う (4) 力を培う (2) (2) (2) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		定期考査			0	0		1
	学	動物調査、種の散布、木の実実物標本では、 標本では、 一、大の実の実物による環境変化 「生物観察の知識と技術を高点を理解を表して、 一、大学をできない。 「世界では、 一、大学をできない。 「世界では、 一、大学をできない。 「大学では、 一、大学を、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、大学、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	①講義:環境的要素・生物的要素・食物連鎖・ニッチ・植物群落、校内の生物とその環境についてのフィールドワーク実習:植物・昆虫・野帳・花粉の観察 ②講義:植物による土壌環境の変化、環習:植物・昆虫野鳥・の観察を化に伴う生物の観察を上中小動物の観察、種子の観察・標本制作 ③講義:動物の環境適応の法則森林海の一ながり、海洋の生態系(海岸・珊瑚礁・干潟)実習:種子の観察、種子の標本	①調査対象に適した方法を実施し、その内容を説明できる。(観察・レポート)②実習場面において適望・資材を選定し、使用することができる。(観察・レポート)③生物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。(単元テスト)④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート)【思考・判断・表現】①各生物の生態や行からをといる。(観察・レボート)【生体的に学習に取り組む態度】①(校内外の生物に関心をもち、積極的に実習に参加りている。(観察・レボート)【主体的に学習に取り組む態度】②(被内外の生物に関心をもち、積極的に情報	0	0	0	14
		定期考査			0	0		1

3 学期	物 【知識及び技能】 自然度を客観的に判断できる能力を 習得させる。自然保護に対する知識 を習得させせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自然保護に関する問題を見出能力 多方に付いる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然度による環境変化や相互作用 について自ら責任ある行動をといく実 協力となら 関力を培う	②講義: 土壌、森林、河川、海洋 汚染の現状、汚染防止に向けた取り組み 実習:事例による学習	【知識・技能】 ①調査対象に適した方法を実施し、その内容を説明できる。(観察・レポート) ②実習場面において適切な道具・資材を選定し、使用することができる。(観察・レポート) ③生物の特性や習性について理解し、生物分類や動物種について説明できる。(単元テスト) ④レポートに実習内容を分かりやすく記述している。(レポート) 【思考・判断・表現】 ①各生物の生態や行動を理解し、生態系の現状や今後の推移について考察している。(観察・レポート) 【主体的に学習に取り組む態度】 ①校内外の生物に関心をもち、積極的に実習に参加している。(観察)。②校内外の生物に関心をもち、積極的に情報を集め、レポートに記述している。(レポー	0	0	0	10
	定期考査			0	0		1

合計 41

令和5年度(2023年度)年間指導計画

_		1-1111		127 / 1	1			
	教科	農業	対象·	クラス	0	必修	単位数	
	科目	課題研究	3年	A組		必修選択	中世致	3単位
	使用教科書 使用教材	自作プリント		科目拍	旦当者			
	評価の 観点・方法			③ノート・レ 多いときは		末)①~③ こなることが	③を総合的 ぶある	に判断し
L	かんか ノンカ			7 CC 16	, р I рад 1 л		67 0 0	

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
	4	各自飼育動物等を用いて、自らテーマを決め、 調査研究を行う	各自で調査研究テーマをきめ、そのテーマに沿って計画立案・実施・まとめまでを行う力を養う。	テーマに沿った実施計画を立て、実際に調査研究を行う。	7
	5	各自飼育動物等を用いて、自らテーマを決め、 調査研究を行う	各自で調査研究テーマをきめ、そのテーマに沿って計画立案・実施・まとめまでを行う力を養う。	テーマに沿った実施計画を立て、実際に調査研究を行う。	9
1 学 期	6	各自飼育動物等を用いて、自らテーマを決め、 調査研究を行う	各自で調査研究テーマをきめ、そのテーマに沿って計画立案・実施・まとめまでを 行う力を養う。	中間報告に向け、実施内容の中間まとめと、pptの作成を行う。	12
	7	各自飼育動物等を用いて、自らテーマを決め、 調査研究を行う	各自で調査研究テーマをきめ、そのテーマに沿って計画立案・実施・まとめまでを行う力を養う。	中間報告を基に、夏季休業中の実施を念頭においた活動を行う。	3
	8				
	9	各自飼育動物等を用いて、自らテーマを決め、 調査研究を行う	各自で調査研究テーマをきめ、そのテーマに沿って計画立案・実施・まとめまでを 行う力を養う。	夏季休業中の実施内容のまとめと、 調査研究の継続。	9
2 学	10	各自飼育動物等を用いて、自らテーマを決め、 調査研究を行う	各自で調査研究テーマをきめ、そのテーマに沿って計画立案・実施・まとめまでを行う力を養う。	園芸展に向けた、テーマのまとめを 行う。	12
期	11	各自飼育動物等を用いて、自らテーマを決め、 調査研究を行う	各自で調査研究テーマをきめ、そのテーマに沿って計画立案・実施・まとめまでを行う力を養う。	最終報告に向けて、すべての調査研究についてまとめる。 冊子・pptの作成	12
	12	各自飼育動物等を用いて、自らテーマを決め、 調査研究を行う	各自で調査研究テーマをきめ、そのテーマに沿って計画立案・実施・まとめまでを行う力を養う。	最終報告に向けて、すべての調査研究についてまとめる。 冊子・pptの作成	3
3 学	1	各自飼育動物等を用いて、自らテーマを決め、 調査研究を行う	各自で調査研究テーマをきめ、そのテーマに沿って計画立案・実施・まとめまでを行う力を養う。	最終報告に向けて、すべての調査研究についてまとめ、発表する。 pptの作成	13
期	2				
	3				

令和5年度(2023年度) 年間指導計画

	1- 1 1 /	<u> </u>	<u> </u>	1-33H /3	<u> </u>		
教科	農業	対象	クラス	0	必修	単位数	
科目	総合実習	3年	A組		必修選択	中世数	3単位
使用教科書 使用教材	ビジュアルで学ぶ動! 自作プリント		科目拍	旦当者			
評価の		'·授業態度		・レポート)~④を総	
観点·方法	断して評価する。ノー る。	-トやレポー	-トの未提と	出が多いと	ささは評価か	^ヾ 1になるこ	ことがあ

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
	4	化学実験(溶液の調製) 動物実験(血液の観察) トリミング(イヌの肢体について)	身近な動物を用いた実験実習を通して、科学的な視点を身に付けさせる。	化学実験の基本となる溶液の調製方法、ネズミを用いた血液検査、イヌの 肢体について学ぶ。	9
1	5	化学実験(溶液の調製) 動物実験(血液の観察) トリミング(イヌの肢体について)	身近な動物を用いた実験実 習を通して、科学的な視点 を身に付けさせる。	化学実験の基本となる溶液の調製方法、ネズミを用いた血液検査、イヌの 肢体について学ぶ。	9
学 期	6	化学実験(中和滴定) 動物実験(ニワトリの解剖) トリミング(トリミング方法)	身近な動物を用いた実験実 習を通して、科学的な視点 を身に付けさせる。	中和滴定を用いて正確に溶液が調製されているかを調べる。ニワトリの解剖を行い、鳥類の臓器を観察する。トリミングの基礎を学ぶ。	12
	7	1学期まとめ		期末考査	1
	8				
	9	化学実験(食酢の酸度調べ) 動物実験(精液の性状検査) トリミング(トリミング実践)	身近な動物を用いた実験実 習を通して、科学的な視点 を身に付けさせる。	身近な材料の酸性度を求める方法を知る。ブタの精液から性状を調べる。 トリミング方法を学ぶ。	12
2 学 期	10	化学実験(消化酵素) 動物実験(スメア検査) トリミング(トリミング実践)	身近な動物を用いた実験実習を通して、科学的な視点を身に付けさせる。	ペプシンを用いて消化酵素の働きを 知り体内活動について理解する。ネ ズミを用いて発情周期を調べる。	6
期	11	化学実験(DNAの抽出) 動物実験(糞便検査) トリミング(トリミング実践)	身近な動物を用いた実験実習を通して、科学的な視点を身に付けさせる。	野菜を用いたDNAの抽出方法を知る。動物の糞便から虫卵等の有無を調べる。トリミング方法を学ぶ。	9
	12	化学実験(DNAの抽出) 動物実験(糞便検査) トリミング(トリミング実践)	身近な動物を用いた実験実習を通して、科学的な視点を身に付けさせる。	野菜を用いたDNAの抽出方法を知る。動物の糞便から虫卵等の有無を調べる。トリミング方法を学ぶ。	1
3	1	化学実験(DNAの抽出) 動物実験(糞便検査) トリミング(トリミング実践ま とめ)	身近な動物を用いた実験実 習を通して、科学的な視点 を身に付けさせる。	野菜を用いたDNAの抽出方法を知る。動物の糞便から虫卵等の有無を調べる。トリミング方法を学ぶ。	9
学 期	2	3学期まとめ		学年末考査	1
	3				

令和5年度(2023年度) 年間指導計画

教科	農業	対象·	クラス	0	必修	単位数					
科目	園芸タイム		A組		必修選択		1単位				
使用教科書	教科書なし 飼育動物	物料日均		日出去	山田 僚太						
使用教材	校内環境		科目担当者		友光 俊一	-					
評価の	〈評価の観点〉 〈評価の方法〉 ①授業·実習態度 5段階評価		=		-						
観点∙方法	②農作業技術の習得	メドロロード									

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
	4	圃場整備 動物の飼育管理	圃場整備(A棟)ができる。 動物管理(イヌ・ブタ)ができる。 る。	圃場整備(除草等) 動物の管理(イヌ・ブタ)	2
	5	圃場整備 動物の飼育管理	圃場整備(A棟)ができる。 動物管理(フェレット・モモンガ)ができる。	圃場整備(除草等) 動物の管理(フェレット・モモンガ)	3
1 学 期	6	圃場整備 動物の飼育管理	圃場整備(造園圃場)ができる。 動物管理(モルモット)ができる。	圃場整備(除草等) 動物の管理(モルモット)	3
	7	圃場整備 動物の飼育管理	圃場整備(造園圃場)ができる。 動物管理(ハムスター)ができる。	圃場整備(除草等) 動物の管理(ハムスター)	1
	8				
	9	圃場整備 動物の飼育管理	圃場整備(造園圃場)ができる。 動物管理(爬虫類)ができる。	圃場整備(除草等) 動物の管理(爬虫類)	2
2 学	10	圃場整備 動物の飼育管理	圃場整備(造園圃場)ができる。 動物管理(ニワトリ・ウコッケイ)ができる。	圃場整備(除草等) 動物の管理(ニワトリ・ウコッケイ)	3
学 期	11	圃場整備 動物の飼育管理	圃場整備(造園圃場)ができる。 動物管理(チンチラ)ができる。	圃場整備(除草等) 動物の管理(チンチラ)	6
	12	圃場整備 動物の飼育管理	圃場整備(A棟)ができる。 動物管理(チャボ)ができ る。	圃場整備(落ち葉清掃等) 動物の管理(チャボ)	1
3	1	圃場整備 動物の飼育管理	圃場整備(畑)ができる。 動物管理(ヨウム・ブンチョ ウ)ができる。	圃場整備(土作り) 動物の管理(ヨウム・ブンチョウ)	2
学 期	2				
<u> </u>	3				